

neue rove vol.6 施工上のご注意 チラシNo.一覧

品番	チラシNo.
NR9001	C22
NR9011	C22
NR9021	D11
NR9022	D11
NR9023	D11
NR9024	D11
NR9031	D11
NR9032	D11
NR9033	D11
NR9041	C23
NR9042	C23
NR9043	C23
NR9044	C23
NR9045	C23
NR9051	C26
NR9052	C26
NR9053	C26
NR9061	C24
NR9062	C24
NR9063	C24
NR9064	C24
NR9065	C24
NR9071	C25
NR9072	C25
NR9073	C25
NR9074	C25
NR9081	C24
NR9082	C24
NR9083	C24
NR9084	C24
NR9085	C24
NR9086	C24
NR9087	C24
NR9091	C24
NR9092	C24
NR9093	C24
NR9094	C24
NR9101	D12
NR9102	D12
NR9111	D12
NR9112	D12

繊維系壁紙 施工上のご注意

本製品は、「施工上のご注意」に準じて施工をお願い致します。

注) : 自然素材のため、ジョイント部の色差や風合いに差があります。

- ジョイント部分のヨコ糸がほつれやすい製品です。
- 織物壁紙の製造上、織り柄の揺らぎや目曲がりによってジョイント部分が目立つ場合があります。
- 織物の凹凸部分の重なり方によって、ジョイント部が目立つ場合があります。
- 光の変化や見る角度により、ジョイント部で色が違って見える場合があります。あらかじめご了承ください。

施工環境

・冬場などの気温が低い場所では、糊の接着強度が著しく低下して、ジョイントの目開きや、折りジワが残る場合があります。施工場所の室内温度をストーブ等で上げてから行なってください。

下地処理

- ・下地処理は丁寧に行ってください。
- ・下地基材面にはシーラーを塗布してください。
- ・パテは下地基材の色に合わせてください。

接着剤の濃度と塗布量

・施工糊は「F☆☆☆☆」表示のある壁紙施工用でん粉系接着剤(エチレン酢ビ系接着剤入り)をご使用ください。

・本製品の施工には、工場調合品(原液タイプ)の施工糊の使用をおすすめします。

★塗布量の目安は140~160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。

- ・温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因になります。
- * 光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

貼り付け・ジョイント

・エア抜きや圧着工程でのキズを防止する為に、柔らか目のソフトブラシをご使用ください。

・ジョイント部分のヨコ糸がほつれやすいため、エア抜き、ジョイントのカット、ローラー掛けの際はご注意ください。

・ジョイント部のカットの際、下地を切らないようにご注意ください。

・ジョイント部の重ね切りの際、下地材の保護と目スキ防止用に下敷きテープのご使用をお勧めします。

・カッターは薄刃(0.22~0.25mm厚)を使用し、切れ味が落ちないように刃をこまめに折ってください。

・ジョイント部のおさめは、突きつける感じで撫でるようにおさめあまり強くローラーで押さえないでください。その際、必ずソフトローラーをご使用ください。

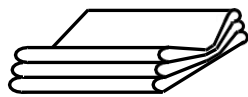
オープンタイム

★のり付け後、クロスが乾かないように、養生ケースまたは養生袋に必ず入れてください。

・貼り付け作業は、クロスにのりが馴染み、しなやかになってから行ってください。

・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたんでください。壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押えないようにしてください。折りジワになることがあります。

重ね置きをしないでください。



○ : 良い



× : 悪い

・クロスは材質や環境条件によって、オープンタイムは異なりますが、原則としては20分(気温:20℃ 湿度:60%)が目安です。

・オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。又、オープンタイムが長すぎる場合は、アイハギの原因になります。

のりの拭き取り

★壁紙の表面にのりを付着させないでください。(のりや汚れが付着した場合は、擦らないで、水に浸して固く絞ったやわらかい布で、軽く叩くように拭取ってください。)

・枠、巾木などに付着したのりを拭くときは、地ベラなどを使い必ずクロスをガードしてください。

・天井面と壁面クロスは突き付け施工には、壁面クロスは水平方向(巾方向)にガードテープを必ず使用し、天井クロスにのりを付着させないでください。

その他

・クロスを貼り付けた後は、急激な乾燥を避けるため、窓を閉めて自然乾燥するようにしてください。

・3枚くらい貼り付けた後、必ず左右の色差など、不具合の有無を確認した上で作業を進行してください。

・3巾以上の施工後は、クレームをお受け出来ない場合があります。

繊維系壁紙 施工上のご注意

本製品は、「施工上のご注意」に準じて施工をお願い致します。

注) : 自然素材のため、ジョイント部の色差や風合いに差があります。

- ヨコ糸が毛羽立ちやすい壁紙です。丁寧に扱ってください。
- 織物壁紙の製造上、織り柄の揺らぎや目曲がりによってジョイント部分が目立つ場合があります。
- 織物の凹凸部分の重なり方によって、ジョイント部が目立つ場合があります。
- 光の変化や見る角度により、ジョイント部で色が違って見える場合があります。あらかじめご了承ください。

施工環境

・冬場などの気温が低い場所では、糊の接着強度が著しく低下して、ジョイントの目開きや、折りジワが残る場合があります。施工場所の室内温度をストーブ等で上げてから行なってください。

下地処理

- ・下地処理は丁寧に行ってください。
- ・下地基材面にはシーラーを塗布してください。
- ・パテは下地基材の色に合わせてください。

接着剤の濃度と塗布量

- ・施工糊は「F☆☆☆☆」表示のある壁紙施工用でん粉系接着剤(エチレン酢ビ系接着剤入り)をご使用ください。
- ・本製品の施工には、工場調合品(原液タイプ)の施工糊の使用をおすすめします。
- ★塗布量の目安は140~160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。
- ・温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因になります。
* 光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

オープンタイム

- ★のり付け後、クロスが乾かないように、養生ケースまたは養生袋に必ず入れてください。
- ・貼り付け作業は、クロスにのりが馴染み、しなやかになってから行ってください。
- ・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたんでください。壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押えないようにしてください。折りジワになることがあります。
- 重ね置きをしないでください。



○ : 良い



× : 悪い

・クロスは材質や環境条件によって、オープンタイムは異なりますが、原則としては20分(気温:20℃ 湿度:60%)が目安です。

・オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。又、オープンタイムが長すぎる場合は、アイハギの原因になります。

貼り付け・ジョイント

- ・エア抜きや圧着工程でのキズを防止する為に、柔らかい目のソフトブラシをご使用ください。
- ・ヨコ糸が毛羽立ちやすいので、エア抜きは丁寧に行ってください。
- ・ジョイント部分のヨコ糸がほつれやすいため、エア抜き、ジョイントのカット、ローラー掛けの際はご注意ください。
- ・ジョイント部のカットの際、下地を切らないようにご注意ください。
- ・ジョイント部の重ね切りの際、下地材の保護と目スキ防止用に下敷きテープのご使用をお勧めします。
- ・カッターは薄刃(0.22~0.25mm厚)を使用し、切れ味が落ちないように刃をこまめに折ってください。
- ・ジョイント部のおさめは、突きつける感じで撫でるようにおさめあまり強くローラーで押さえないでください。その際、必ずソフトローラーをご使用ください。

のりの拭き取り

- ★壁紙の表面にのりを付着させないでください。(のりや汚れが付着した場合は、擦らないで、水に浸して固く絞ったやわらかい布で、軽く叩くように拭取ってください。)
- ・枠、巾木などに付着したのりを拭くときは、地ベラなどを使い必ずクロスガードしてください。
- ・天井面と壁面クロス突き付け施工には、壁面クロスは水平方向(巾方向)にガードテープを必ず使用し、天井クロスにのりを付着させないでください。

その他

- ・クロスを貼り付けた後は、急激な乾燥を避けるため、窓を閉めて自然乾燥するようにしてください。
- ・3枚くらい貼り付けた後、必ず左右の色差など、不具合の有無を確認した上で作業を進行してください。
- ・3巾以上の施工後は、クレームをお受け出来ない場合があります。

繊維系壁紙 施工上のご注意

本製品は、「施工上のご注意」に準じて施工をお願い致します。

注) : 自然素材のため、ジョイント部の色差や風合いに差があります。

- 織物壁紙の製造上、織り柄の揺らぎや目曲がりによってジョイント部分が目立つ場合があります。
 - 織物の凹凸部分の重なり方によって、ジョイント部が目立つ場合があります。
 - 光の変化や見る角度により、ジョイント部で色が違って見える場合があります。
- あらかじめご了承ください。

施工環境

・冬場などの気温が低い場所では、糊の接着強度が著しく低下して、ジョイントの目開きや、折りジワが残る場合があります。施工場所の室内温度をストーブ等で上げてから行なってください。

下地処理

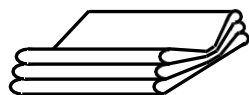
- ・下地処理は丁寧に行ってください。
- ・下地基材面にはシーラーを塗布してください。
- ・パテは下地基材の色に合わせてください。

接着剤の濃度と塗布量

- ・施工糊は「F☆☆☆☆」表示のある壁紙施工用でん粉系接着剤(エチレン酢ビ系接着剤入り)をご使用ください。
 - ・本製品の施工には、工場調合品(原液タイプ)の施工糊の使用をおすすめします。
- ★塗布量の目安は140~160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。
- ・温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因になります。
- * 光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

オープンタイム

- ★のり付け後、クロスが乾かないように、養生ケースまたは養生袋に必ず入れてください。
 - ・貼り付け作業は、クロスにのりが馴染み、しなやかになってから行ってください。
 - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きikutatんでください。壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押えないようにしてください。折りジワになることがあります。
- 重ね置きをしないでください。



○ : 良い



× : 悪い

- ・クロスは材質や環境条件によって、オープンタイムは異なりますが、原則としては20分(気温:20℃ 湿度:60%)が目安です。
- ・オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。又、オープンタイムが長すぎる場合は、アイハギの原因になります。

貼り付け・ジョイント

- ・エア抜きや圧着工程でのキズを防止する為に、柔らかい目のソフトブラシをご使用ください。
- ・ジョイント部分のヨコ糸がほつれやすいため、エア抜き、ジョイントのカット、ローラー掛けの際はご注意ください。
- ・ジョイント部のカットの際、下地を切らないようにご注意ください。
- ・ジョイント部の重ね切りの際、下地材の保護と目スキ防止用に下敷きテープのご使用をお勧めします。
- ・カッターは薄刃(0.22~0.25mm厚)を使用し、切れ味が落ちないように刃をこまめに折ってください。
- ・ジョイント部のおさめは、突きつける感じで撫でるようにおさめあまり強くローラーで押さえないでください。その際、必ずソフトローラーをご使用ください。

のりの拭き取り

- ★壁紙の表面にのりを付着させないでください。(のりや汚れが付着した場合は、擦らないで、水に浸して固く絞ったやわらかい布で、軽く叩くように拭取ってください。)
- ・枠、巾木などに付着したのりを拭くときは、地ベラなどを使い必ずクロスをガードしてください。
- ・天井面と壁面クロスは突き付け施工には、壁面クロスは水平方向(巾方向)にガードテープを必ず使用し、天井クロスにのりを付着させないでください。

その他

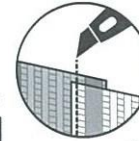
- ・クロスを貼り付けた後は、急激な乾燥を避けるため、窓を閉めて自然乾燥するようにしてください。
- ・3枚くらい貼り付けた後、必ず左右の色差など、不具合の有無を確認した上で作業を進行してください。
- ・3巾以上の施工後は、クレームをお受け出来ない場合があります。

繊維系壁紙 施工上のご注意

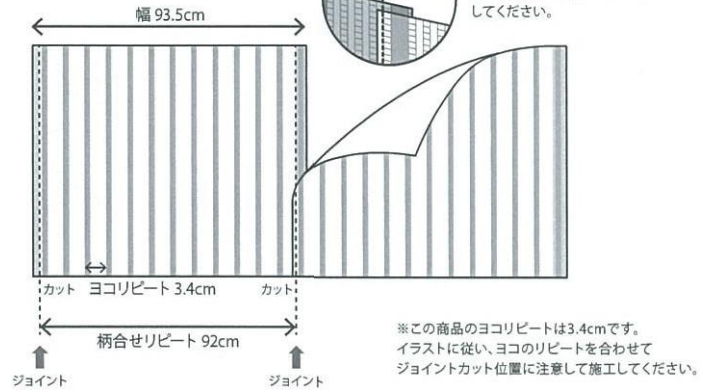
本製品は、「施工上のご注意」に準じて施工をお願い致します。

この商品は柄合わせが必要です。イラストを参考にタテストライプの間隔を合わせてください。

- 織物壁紙の製造上、織り柄の揺らぎや目曲がりによってジョイント部分が目立つ場合があります。
- 織物の凹凸部分の重なり方によって、ジョイント部が目立つ場合があります。
- 光の変化や見る角度により、ジョイント部で色が違って見える場合があります。あらかじめご了承ください。



太いタテ系同士を合わせてから、太い系以外の所で、ジョイントしてください。



施工環境

・冬場などの気温が低い場所では、糊の接着強度が著しく低下して、ジョイントの目開きや、折りジワが残る場合があります。施工場所の室内温度をストーブ等で上げてから行なってください。

下地処理

- ・下地処理は丁寧にしてください。
- ・下地基材面にはシーラーを塗布してください。
- ・パテは下地基材の色に合わせてください。

接着剤の濃度と塗布量

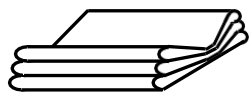
- ・施工糊は「F☆☆☆☆」表示のある壁紙施工用でん粉系接着剤（エチレン酢ビ系接着剤入り）をご使用ください。
- ・本製品の施工には、工場調合品（原液タイプ）の施工糊の使用をおすすめします。
- ・希釈タイプの施工糊は、糊メーカーの指示に従ってください。
- ★塗布量の目安は140～160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。
- ・温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因になります。
*光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

貼り付け・ジョイント

- ・エア抜きや圧着工程でのキズを防止する為に、柔らかか目のソフトブラシをご使用ください。
- ・ジョイント部のカットの際、下地を切らないようにご注意ください。
- ・ジョイント部の重ね切りの際、下地材の保護と目スキ防止用に下敷きテープのご使用をお勧めします。
- ・カッターは薄刃（0.22～0.25mm厚）を使用し、切れ味が落ちないように刃をこまめに折ってください。
- ・ジョイント部のおさめは、突きつける感じで撫でるようにおさめあまり強くローラーで押さえないでください。その際、必ずソフトローラーをご使用ください。

オープンタイム

- ★のり付け後、クロスが乾かないように、養生ケースまたは養生袋に必ず入れてください。
- ・貼り付け作業は、クロスにのりが馴染み、しなやかになってから行ってください。
- ・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたんでください。壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押えないようにしてください。折りジワになることがあります。重ね置きをしないでください。



○：良い



×：悪い

・クロスは材質や環境条件によって、オープンタイムは異なりますが、原則としては15分（気温：20℃ 湿度：60%）が目安です。

・オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。又、オープンタイムが長すぎる場合は、アイハギの原因になります。

のりの拭き取り

- ★壁紙の表面にのりを付着させないでください。（のりや汚れが付着した場合は、擦らないで、水に浸して固く絞ったやわらかい布で、軽く叩くように拭取ってください。）
- ・枠、巾木などに付着したのりを拭くときは、地べらなどを使い必ずクロスガードしてください。
- ・天井面と壁面クロス突き付け施工には、壁面クロスに水平方向（巾方向）にガードテープを必ず使用し、天井クロスにのりを付着させないでください。

その他

- ・クロスを貼り付けた後は、急激な乾燥を避けるため、窓を閉めて自然乾燥するようにしてください。
- ・3枚くらい貼り付けた後、必ず左右の色差など、不具合の有無を確認した上で作業を進行してください。
- ・3巾以上の施工後は、クレームをお受け出来ない場合があります。

繊維系壁紙 施工上のご注意

本製品は、「施工上のご注意」に準じて施工をお願い致します。

注) :ヨコ柄の柄合せは出来ません。ジョイント部は目立ちます。

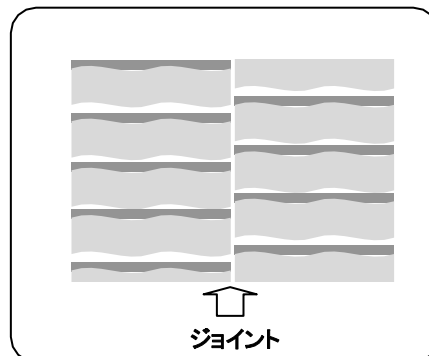
- 織物壁紙の製造上、若干の揺らぎや目曲がりによってジョイント部が目立つ場合があります。
- 織物の凹凸部分の重なり方によって、イラストのようにジョイント部が目立つ場合があります。
- 光の変化や見る角度により、ジョイント部で色が違って見える場合があります。
あらかじめご了承ください。

施工環境

・冬場などの気温が低い場所では、糊の接着強度が著しく低下して、ジョイントの目開きや、折りジワが残る場合があります。施工場所の室内温度をストーブ等で上げてから行ってください。

下地処理

- ・下地処理は丁寧に行ってください。
- ・下地基材面にはシーラーを塗布してください。
- ・パテは下地基材の色に合わせてください。



接着剤の濃度と塗布量

・施工糊は「F☆☆☆☆」表示のある壁紙施工用でん粉系接着剤(エチレン酢ビ系接着剤入り)をご使用ください。

・本製品の施工には、工場調合品(原液タイプ)の施工糊の使用をおすすめします。

★塗布量の目安は140~160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。

・温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因になります。
* 光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

貼り付け・ジョイント

- ・エア抜きや圧着工程でのキズを防止する為に、柔らか目のソフトブラシをご使用ください。
- ・ジョイント部のカットの際、下地を切らないようにご注意ください。
- ・ジョイント部の重ね切りの際、下地材の保護と目スキ防止用に下敷きテープのご使用をお薦めします。
- ・カッターは薄刃(0.22~0.25mm厚)を使用し、切れ味が落ちないように刃をこまめに折ってください。
- ・ジョイント部のおさめは、突きつける感じで撫でるようにおさめあまり強くローラーで押さえないでください。その際、必ずソフトローラーをご使用ください。

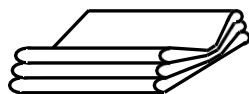
オープンタイム

★のり付け後、クロスが乾かないように、養生ケースまたは養生袋に必ず入れてください。

・貼り付け作業は、クロスにのりが馴染み、しなやかになってから行ってください。

・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたんでください。壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押さないようにしてください。折りジワになることがあります。

重ね置きをしないでください。



○: 良い例



×: 悪い例

・クロスは材質や環境条件によって、オープンタイムは異なりますが、原則としては20分(気温:20℃ 湿度:60%)が目安です。

・オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。又、オープンタイムが長すぎる場合は、アイハギの原因になります。

のりの拭き取り

★壁紙の表面にのりを付着させないでください。(のりや汚れが付着した場合は、擦らないで、水に浸して固く絞ったやわらかい布で、軽く叩くように拭取ってください。)

・枠、巾木などに付着したのりを拭くときは、地べらなどを使い必ずクロスをガードしてください。

・天井面と壁面クロス突き付け施工には、壁面クロスは水平方向(巾方向)にガードテープを必ず使用し、天井クロスにのりを付着させないでください。

その他

- ・クロスを貼り付けた後は、急激な乾燥を避けるため、窓を閉めて自然乾燥するようにしてください。
- ・3枚くらい貼り付けた後、必ず左右の色差など、不具合の有無を確認した上で作業を進行してください。
- ・3巾以上の施工後は、クレームをお受け出来ない場合があります。

施工上のご注意

以下は重要な注意点の抜粋です。詳しくは見本帳をご確認ください。

● 下地処理

- ・ 不陸が目立たないように、下地を平滑に仕上げてください。
- ・ 変色等の防止のため、下地に合わせた専用シーラーで下地を調整してください。

● 糊付け・養生

アイハギ、接着不良、折れジワ、目隙を防ぐため、

- ・ 希釈タイプの施工糊はメーカーが指定する範囲内で濃い目に調整してください。
- ・ 糊の塗布量は多めに140~160g/m²(気温20℃、湿度50%)を目安に、使用時の気温や湿度に合わせて調整してください。
- ・ 糊付け後は、折り目が見つからないように注意し、養生袋内で保管してください。(オープンタイムの目安は10~15分程度です。)
- ・ 重ね置きはしないでください。

● 割り付け・張り付け・拭き取り

- ・ 自然素材の繊維のムラによりジョイント左右に色差がでる場合があります。
- ・ 左右差を防止するため、ジョイントは製品有効巾左右の端部どうしで行ってください。中-耳、腹-耳、タテ-ヨコジョイントなど端部以外でのジョイントが避けられない場合事前に監督等の了承を得て、目立ちにくい部位にジョイントがくるように割付てください。
- ・ ジョイントの施工方法は「重ね断ち」または「突きつけ」が基本となりますが監督等の指示で「重ね張り」をする場合は、どれくらい重ねるかをご確認ください。また、ジョイントに浮きや剥がれが生じないように接着してください。(重ね張りの重ね巾の目安:5mm~10mm)
- ・ 「重ね裁ち」の場合は、製品表面への糊の付着や下地の傷つきを防止するためカッターテープと下敷きテープを使用してください。また、カットの際は原材料に使用している繊維による切り損じにご注意ください。
- ・ 撫で付けの際は柔らかい撫で刷毛を使用し、毛羽立ち、色落ち、材料が脱落しないように注意してください。(出隅部分は特に注意)
- ・ ローラーがけの際はハイウレタンローラーを使用し、製品が潰れないよう力加減に注意してください。
- ・ 表面に糊が付かないように注意してください。付着した場合は、水を含ませたスポンジなどの柔らかい素材を使用し、色落ちや傷つきに注意しながら、軽くたたくようにして拭取ってください。

施工上のご注意

以下は重要な注意点の抜粋です。詳しくは見本帳をご確認ください。

● 下地処理

- ・ 不陸が目立たないように、下地を平滑に仕上げてください。
- ・ 変色等の防止のため、下地に合わせた専用シーラーで下地を調整してください。

● 糊付け・養生

アイハギ、接着不良、折れジワ、目隙を防ぐため、

- ・ 希釈タイプの施工糊はメーカーが指定する範囲内で濃い目に調整してください。
- ・ 糊の塗布量は多めに $140\sim 160\text{g}/\text{m}^2$ (気温 20°C 、湿度 50%)を目安に、使用時の気温や湿度に合わせて調整してください。
- ・ 糊付け後は、折り目が見つからないように注意し、養生袋内で保管してください。(オープンタイムの目安は $10\sim 15$ 分程度です。)
- ・ 重ね置きはしないでください。

● 割り付け・張り付け・拭き取り

- ・ 自然素材の繊維のムラによりジョイント左右に色差がでる場合があります。
- ・ 左右差を防止するため、ジョイントは製品有効巾左右の端部どうしで行ってください。中-耳、腹-耳、タテ-ヨコジョイントなど端部以外でのジョイントが避けられない場合事前に監督等の了承を得て、目立ちにくい部位にジョイントがくるように割付てください。
- ・ ジョイントの施工方法は「重ね断ち」または「突きつけ」が基本となりますが監督等の指示で「重ね張り」をする場合は、どれくらい重ねるかをご確認ください。また、ジョイントに浮きや剥がれが生じないように接着してください。(重ね張りの重ね巾の目安： $5\text{mm}\sim 10\text{mm}$)
- ・ 「重ね裁ち」の場合は、製品表面への糊の付着や下地の傷つきを防止するためカッターテープと下敷きテープを使用してください。また、カットの際は原材料に使用している繊維による切り損じにご注意ください。
- ・ 撫で付けの際は柔らかい撫で刷毛を使用し、毛羽立ち、色落ち、材料が脱落しないように注意してください。(表面の「木粉」や「わら」が取れやすくなっています。出隅部分を施工する際は特に注意ください。)
- ・ ローラーがけの際はハイウレタンローラーを使用し、製品が潰れないよう力加減に注意してください。
- ・ 表面に糊が付かないように注意してください。付着した場合は、水を含ませたスポンジなどの柔らかい素材を使用し、色落ちや傷つきに注意しながら、軽くたたくようにして拭取ってください。